

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000064"/> 整理番号 <input type="text" value="11637"/> 担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="木材とプラスチックの共液化による石油代替液体燃料製造方法"/>
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="リサイクル"/> <input type="text" value="環境"/>
適用製品	<input type="text" value="廃木材、廃プラスチック"/>
目 的	<input type="text" value="近年、石油代替燃料として木質バイオマス为原料とする液体燃料が注目されている。しかし、従来法では分解反応中に残渣が多く形成され、石油代替液体燃料収率が低い。また、得られた石油代替燃料も燃料としての物性が低く、高極性化合物を多く含むため既存の石油由来燃料と混合利用できるのは一部である。そこで、木質バイオマスを原料としてより高い効率で石油代替液体燃料が製造できる方法の開発を目的とした。"/>
技術概要	<input type="text" value="木質バイオマスとプラスチックを共熱分解することにより、従来方法に比べて低温で、燃料物性の高い石油代替液体燃料を高効率で製造できることを見出した。"/> <input type="text" value="本発明で完成された製造方法では、木質バイオマスとプラスチックとを共熱分解することにより、生じた木材分解物とプラスチック分解物とが化合するため、木材分解物同士や未分解物が重縮合して起こる残渣の形成が抑制され、石油代替液体燃料の収率が向上する。また、得られる燃料の物性も向上し、芳香族化合物、含酸素化合物が少なく、脂肪族性が増して極性が低下するため石油由来燃料と混合しても相分離せず、全てを利用できる。"/> <input type="text" value="また、木材分解物から生成するラジカルにより、プラスチックの分解が促進されるため、従来検討されているプラスチックの液化温度より低温で石油代替液体燃料を製造できる。さらに、本発明の製造方法では触媒を必要としないため、回収のための機構が不要である。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp